

## 強盗に狙われ易い家10選

ヤフーニュース2月2日配信より抜粋

### 1. ブロック塀が高い

死角が出来て敷地内の様子が周囲の人に気づかれにくい、犯人にとっては好都合  
**対策：**敷地内が見えるような隙間のある柵に変える。範囲がよじ登れないような2m以上の見通しのいい柵だとなおよい。

### 2. 表札やガスメーターにマークがある。

W=女性、M=男性、○=入りやすい等、強盗犯や悪徳業者が得た情報を記録したり、仲間に共有するためのマークが書かれていることもある。  
 表札、ガスメーター、ポストなどに多く、シールがはってある場合もある。

#### マークの例

WS10-20=一人暮らし情勢で10時から20時まで不在。

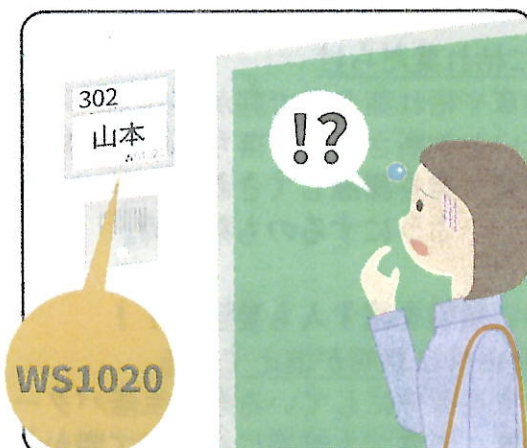
8-16○=8時から16時まで不在で入りやすい。

**対策：**マークが書かれたり、シールが貼られていた場合は

すぐに消したり、はがすようにする

## マーキングは 表札や郵便受けなどに空き巣がつけるマーク

W = 女性  
 M = 男性  
 F = ファミリー  
 S = 一人暮らし  
 ○ = 入りやすい  
 × = 家に入れない  
 △ = 侵入できる可能性がある



**WS1020 = 女性の一人暮らしで10時から20時まで不在 など**

### 3. 車庫にシャッターが無い。

道路と境目のない車庫は、心理的に侵入しやすくなってしまいます。

**対策：**ロープやチェーンを一本張るとそれを乗り越えるための心理的ハードルが上がる。外出時に車庫が空っぽになった場合は、自転車を車庫の真ん中において不在を知られないようにする。

### 4. ポストに郵便物がたまっている

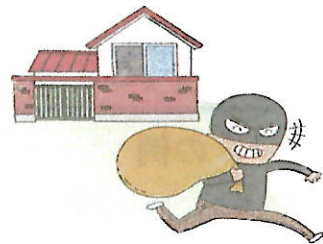
ポストにたまった郵便物やチラシなどで留守宅と判断されてしまう。

**対策：**長期間家を留守にするときは、郵便教区に不在届けを出して郵便物を一時ストップさせる。

### 5. 玄関に高価なものが置いてある。

にせ配達員やセールスマンが下見に来た時に、お金をもっていると判断される危険性が高まる。

**対策：**高価なものは玄関付近におかないようにする。



### 6. 窓の近くに足場がある。

警察庁のデータによると住宅窃盗では窓からの侵入が6割以上、足場があると踏み台にされて侵入しやすくなってしまいます。

### 7. 風呂窓に格子がある。

一般的な格子窓はネジを緩めるだけで簡単に外れてしまう。

格子があるからと油断して窓を開けておくのは危険。

**対策：**防犯性の実証実験済の“CPマークつき”製品に交換したり、格子のネジ穴にボンドを入れて簡単に外せないようにする

### 8. 庭や玄関にライトが無く暗い。

ライトが無く庭が暗い家は、侵入しても顔を見られるリスクが低く忍びやすい。

**対策：**強盗犯は明るいと顔を嫌うため、人感センサー付きライトや、ガーデンライトを設置して明るくすることが重要。

### 9. 庭に枯れ葉だらけ

雑草や枯れ葉などで庭があればいると、居住者のズボラな面が見え、防犯意識が低いと判断される。落ち葉や枯れ草をおいてマーキングされる事がある。

**対策：**庭を掃除してきれいに保つ。花や、犬の置物をおいて、通行人の目を引くようにするのも効果的。

### 外出時に照明を消す人も要注意！！

#### 10. 外出時に照明が消えている

家を留守にしている事や生活パターンを知られてしまう原因に。

**対策：**不在でも時間に合わせて明かりがつくタイマー機能付きの照明を設置する。